

2023年12月12日(火) 11:00 情報公開

ミューザ川崎シンフォニーホール

開館 20 周年 公演ラインアップ発表!

ウィーン・フィル／バイエルン放送響／ノット×東響《ばらの騎士》／タリス・スコラズ／フィルハーモニア管／ほか



写真(左上から):サー・サイモン・ラトル(指揮)©Mark Allan/タリス・スコラズ/サントゥ＝マティアス・ロウヴァリ(指揮)©Camilla Greenwell/井上道義(指揮)©Yuriko Takagi/森山開次(演出)©Sadatoshi Ishizuka/フェスタ サマーミューザ KAWASAKI©N.Ikegami/原田慶太楼(指揮)©Claudia Hershner/サー・アンドラーシュ・シフ(ピアノ)©Nadja Sjöström/ジョナサン・ノット(指揮)©K.Nakamura

ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市幸区大宮町 1310、以下「ミューザ」)は、2024 年度の主催公演を発表いたします。川崎市制 100 周年・ミューザ開館 20 周年である 2024 年度は、世界最高水準から地域に根差した公演まで幅広いラインアップでお届けします。

■20 周年記念公演・海外来日公演

開館 20 周年を華やかに彩る「スペシャル・オーケストラ・シリーズ」では、記念公演のジョナサン・ノット指揮/東京交響楽団による《ばらの騎士》(12/15)をはじめ、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(11/7)が4年ぶりに登場、またミューザの音響を愛し「世界最高のホール」と絶賛するサー・サイモン・ラトルとともにバイエルン放送交響楽団(11/24)が6年ぶりの登場を果たします。このほか、今年創立 50 周年を迎えた世界最高の古楽アカペラアンサンブル「タリス・スコラズ」(7/6)、気鋭のサントゥ＝マティアス・ロウヴァリ率いるフィルハーモニア管弦楽団(2025/1/24、共催)、サー・アンドラーシュ・シフと自身の創設した室内アンサンブル「カペラ・アンドレア・バルカ」(2025/3/21)が登場。2024 年末で引退を表明している指揮者・井上道義が森山開次(演出)とともに新制作する全国共同制作オペラ《ラ・ボエーム》(11/2)や、ミューザの新作委嘱による菅野由弘作曲のピアノ協奏曲をホールアドバイザーで川崎出身のピアニスト小川典子が世界初演するアジア音楽祭オーケストラコンサート(2025/2/7)にもどうぞご注目ください。

■サマーミューザは 7/27-8/12 開催・6/29-30 は川崎を音楽で祝う 2 日間

夏の風物詩となった「フェスタ サマーミューザ KAWASAKI」は 7/27(土)～8/12(月・祝)に開催、各オーケストラの白熱競演にご期待ください(詳細は 3/26(火)発表)。毎年恒例の地域交流イベント「ミューザの日」(6/29)では、公募で選ばれた高校 3 年生と大学 3 年生(※2023 年 12 月現在)の若きプロデューサー 2 人が記念イヤーにふさわしいオーケストラコンサートを企画。家族で楽しめる各種ワークショップや体験イベントなどとあわせて、どうぞご期待ください(詳細は 2024 年春発表)。また例年夏に開催していた川崎のアマチュアオーケストラによる「市民交響楽祭」はミューザのホールアドバイザー 秋山和慶(指揮)と小川典子(ピアノ)を迎えて 6/30(日)に開催。川崎市の市制記念日でありミューザの開館記念日でもある 7/1(月)に向けて、6/29(土)-30(日)の 2 日間にわたり音楽でミューザと川崎市の W アニヴァーサリーを祝います。



「ミューザの日」アンバーサリー・コンサートの若きプロデューサー、市川モナ(高校 3 年・川崎市在住)・森照寛(昭和音楽大学 3 年)。いずれも川崎にゆかりのある二人がコンサートを企画。

■人気シリーズ「名曲全集」「モーツァルト・マチネ」「ランチタイム」には謎のマエストロデュオ登場!

東京交響楽団との「名曲全集」シリーズ(全 10 回)や「モーツァルト・マチネ」シリーズ(全 4 回)では同団音楽監督のジョナサン・ノットをはじめユベール・スダーン、原田慶太楼、秋山和慶、クシシュトフ・ウルバンスキ、沼尻竜典、佐藤俊介という充実の指揮者陣に加えて、太田弦、アンドレアス・オッテンザマー、出口大地、中野りな(ヴァイオリン)、小林愛実(ピアノ)、小林海都(ピアノ)など注目の若手が続々登場。ワンコインで多彩な音楽を楽しめると人気の「MUZA ランチタイムコンサート」(全 12 回)では定番のオルガンや、津軽三味線、スティールパン、ジャズ、さらに 2025 年 1 月には、日本を代表するマエストロ 2 人によるピアノ連弾企画を予定、詳細は 2024 年秋に発表します。

■個性際立つホールアドバイザー企画／スペシャル・ナイトコンサート／ほか



写真(左から):チーフホールアドバイザー秋山和慶(指揮)©堀田力丸/ホールアドバイザー 宮本貴奈(ピアノ/作編曲)、松居直美(オルガン)©木之下晃、小川典子(ピアノ)©Patrick Allen operaomnia.co.uk

ミューザのホールアドバイザー4名による「ホールアドバイザー企画」も個性際立つラインアップが揃いました。14年目となる人気企画「オーケストラで楽しむ映画音楽」(4/6)では秋山和慶(指揮)と2023年4月にジャズ部門のアドバイザーに就任した宮本貴奈(ピアノ/作編曲)がタッグを組み、ニュー・シネマ・パラダイス、ラストエンペラーなどの映画音楽の名曲をたっぷりお届けします。松居直美(オルガン)企画では、2024年に没後150年を迎えるブルクミュラーを特集(10/26)、ホールオルガニストの大木麻理とともに、ピアノを習う人なら必ず通る教則本「25の練習曲」などをオルガンで演奏しその魅力に新たな光を当てます。また小川典子(ピアノ)企画では、自身が審査委員長を務める浜松国際ピアノコンクールの入賞者を迎えてのスペシャル・ガラ・コンサート(2025/2/23)をお届けします。

ジャンルの境界を超えて各界のエキスパートたちとコラボレーションを繰り返す「MUZA スペシャル・ナイトコンサート」では、前回大好評を得たホールオルガニスト大木麻理によるミュージカル特集の第二弾「パイプオルガン×ミュージカル Vol.2」(5/29)に岡幸二郎、吉岡小鼓音、小野田龍之介、加藤梨里香という豪華キャストを迎えて、そしてホールアドバイザー宮本貴奈(ピアノ/作編曲)が塩谷哲(ピアノ)と組んでヴァレンタインデーに贈るスペシャルなコンサート(2025/2/14)の2公演を開催します。

さらに小川典子(ピアノ)がライフワークとして続けている自閉症者とその家族のためのコンサート「ジェイミーのコンサート」(4/4)は第20回を迎え、スペシャルゲスト国府弘子(ピアノ)とともにお届けします。

このほか恒例のパイプオルガン クリスマス・コンサートやジルベスターコンサート、音楽大学交流事業、市民音楽家によるコンサート、家族で参加できるイベントなど、2024年度も充実のラインアップで皆様のご来場をお待ちしております。

■20周年記念サイト／スペシャルグッズ／写真展

このほか、ミューザの開館20周年に「ありがとう」の気持ちを込めて、アニヴァーサリー・イヤーをもっと楽しんでいただくためのスペシャルコンテンツを準備中です。こちらもどうぞご期待ください。

- ・ミューザ20周年特設サイト(2024年3月末公開予定)

<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/muza20th/>

- ・オリジナルグッズ(2024年春～順次発売予定) ハンドタオル/チケットホルダー 他
- ・特別写真展(2024年4月～、ホール内ロビー)

■20周年公演ラインアップ一覧:

https://www.kawasaki-sym-hall.jp/events/series/list_next_year.php



以上

◇本リリースに関するお問合せ

ミューザ川崎シンフォニーホール 事業企画課(広報担当) 佐藤容子
Tel. 044-520-0100(10:00～18:00) sato@kawasaki-sym-hall.jp